

# DIMPLEPOST X

ディンプルポイントで安全性と施工性を向上させるタカミヤの親綱支柱



新認定基準に対応し、作業者の安全を確保。  
運びやすく、施工しやすい親綱支柱。



### 製品特長

100kg  
対応

重量  
8.9kg

施工性  
アップ

- フルハーネスに対応し、100kg対応の親綱支柱へリニューアル
- 重量は8.9kg であるため運びやすく、高い施工性を確保!
- 持ち運びの際重みが分散されるように取手を幅広タイプへ改良
- 特殊材質による「座金」がボルトの軸力を確実に伝えます
- 衝撃を和らげる効果を持たせた「親綱保持金具」で更に安全性を向上!

### 15度の角度で施工性・安全性アップ

DIMPLEPOST X は 15度の角度を付けております。これによって梁上での歩行がよりスムーズとなり、作業性が一段と向上!

### ディンプルポイントとは



ディンプルポイントが親綱から伝わる衝撃荷重を吸収し、掴み金物への負担を和らげます。

親綱保持金具



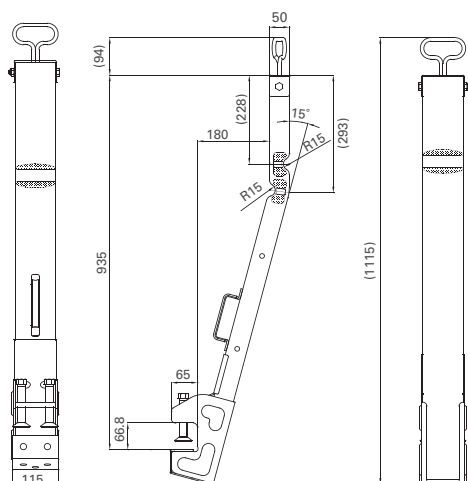
取手



座金



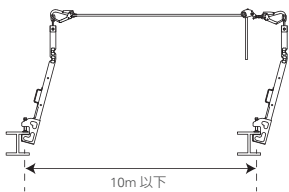
### 製品仕様図



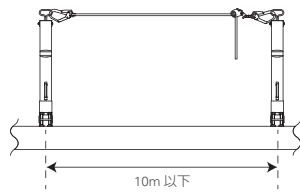
# 使用時の注意事項

## ■ 親綱支柱

1. 設置前の確認。以下の事項を点検し異常のないことを確認して下さい。もし異常があった場合は使用しないで下さい。
  - ① 各部材の変形、摩耗等の有無
  - ② 取付金具等取付部の作動の異常の有無
  - ③ 緊張器の機能の異常の有無
2. 隙間がなくなるまで鉄骨フランジに支柱取付部を差込み、固定ボルトをしっかり締付けて下さい。(締付けトルク:6.0kN・cm)
3. 支柱のスパンは10m以下にして下さい。

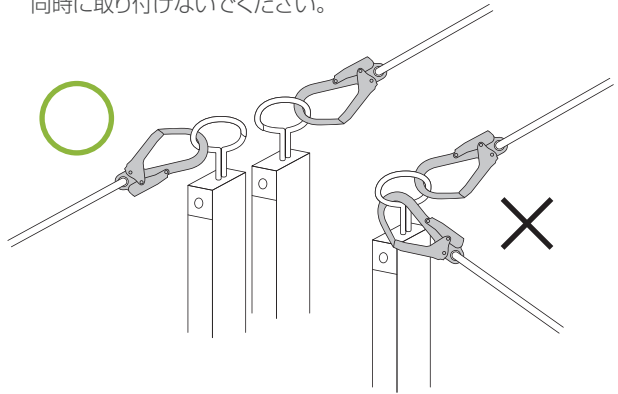


〈 直交方向 取付図 〉



〈 平行方向 取付図 〉

4. 支柱のスパンが10mで、支柱用親綱に認定品の合成繊維ロープを用いた場合、支柱を設置した作業床と衝突のおそれがある床面、又は機器設備等との垂直距離を6.75m以上確保してください。
5. 本製品は、必ず、1スパン一人で使用してください。
6. コーナーに使用する支柱には、平行方向と直交方向の2本の親綱を同時に取り付けないでください。



## ■ 親綱

1. 次のいづれかに該当し強度等の確保が困難であるものは、支柱用親綱として使用しないでください。
  - ① ロープに切り傷等の損傷があるもの。
  - ② 著しい摩耗または溶断等の損傷があるもの。
  - ③ 親綱として使用中、落下衝撃を受けたもの。
2. 親綱は鋭利な部分がある構造物に取り付けしないでください。
3. 火気、薬品が触れる場所には使用しないで下さい。

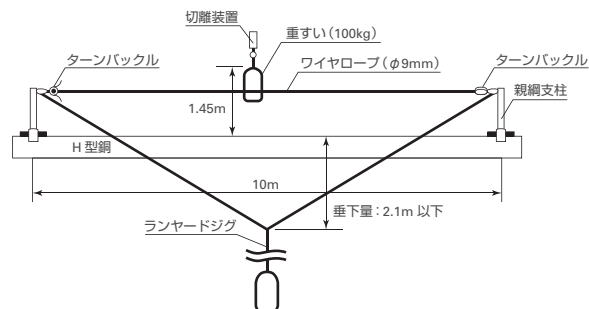
## ■ 緊張器

1. 緊張器の取り付けにシャックル等を使用する場合は、JIS適合品を使用してください。
2. 緊張作業のときに作業者が危険な位置とならないところ、また墜落制止用器具を使用するときに邪魔にならないところに取り付けてください。

## ■ 親綱支柱「認定試験」

親綱支柱には落下阻止性能試験があり、図のようにして錘を自由落下させたとき

- ① 支柱が支柱固定ジグから脱落しないこと。
  - ② 親綱保持金具から親綱ジグが脱落しないこと。
  - ③ 親綱ジグのH形鋼上面からの垂下量が2.1m以下であること。
  - ④ 親綱支柱の変形角度が45度以下であること。
- 以上が認定合格条件になっています。



〈 落下阻止性能試験の例 (平行型) 〉



認定合格証



株式会社タカミヤ

本 社 大阪市北区大深町3-1 グランフロント大阪 タワーB27階 〒530-0011 T 06. 6375 3900  
営業本部 東京都中央区日本橋3-10-5 オンワードパークビルディング11階 〒103-0027 T 03. 3276 3900



[www.takamiya.co](http://www.takamiya.co)

製品は改良のため予告なく変更することがありますのでご了承ください。